山形県立米沢栄養大学・山形県立保健医療大学共催公開講座

八 幡　芳 和

実施期間：平成２８年１０月２２日（土）１３時～１６時
実施場所：米沢栄養大学　大講義室
担当教員：八幡芳和
連携期間：山形県立保健医療大学

1. 開催の趣旨と概要

山形県立保健医療大学は数年にわたり「考えよう！健康と福祉」というテーマで公開講座を開催しており、広く県民に学習の場を提供している。講義は山形市、新庄市、鶴岡市、米沢市の４会場で実施し、各会場において２名、年間計８名の教員が担当している。平成２８年度米沢会場の公開講座については本学との共催として開催し、２講義のうち１講義を本学教員が担当することになった。

2. 役割分担

① 全体調整：鈴木 一憲教授、佐藤 正幸事務局次長
② 保健医療大学との連絡調整：金谷 直樹主事
③ 会場係：安部 貴洋准教授、金谷 直樹主事
④ 受付係：金光 秀子准教授、飯澤 秀洋法人企画主査
⑤ 司会進行：大和田 浩子学部長
⑥ 講義：八幡 芳和教授

3. 当日の日程

13：00　開講　総合司会　山形県立保健医療大学　教授　菅原 京子
13：00～13：15　挨拶
山形県立保健医療大学　学長　前田 邦彦
山形県立米沢栄養大学　学長　鈴木 道子
13：15～14：30　講義１（質疑応答含む）
司会　山形県立保健医療大学　助教　片桐 智子
「人生を支える足のお手入れ
～糖尿病患者のフットケア技術から～」
山形県立保健医療大学　教授　遠藤 和子
14：40～15：55　司会　山形県立米沢栄養大学　学部長　大和田 浩子
「医師の眼から見た楽しく学ぶ栄養学」
山形県立米沢栄養大学　教授　八幡 芳和
16:00　閉講

4. 参加人数

52 名





5. 講義内容

「医師の眼から見た楽しく学ぶ栄養学」

栄養学を Quiz 形式で、楽しく分かりやすく学ぶ
よく知られている有名人が、実はある病気に罹っておりその病状から何であったかを推定する事を「病跡学」という。
・七福神は、体形・骨格異常（低身長、頭蓋骨変形）・高度腹部肥満から「メタボ症候群・くる病」では
・福助は、身長 64cm、頭蓋骨巨大変形から「くる病」では
・坂本龍馬の姉、乙女は 174cm　112Kg と女丈夫だったが、ある理由で生野菜を食べず「壊血病」で死亡した
・直江兼続は、185cm と巨大で「いつでも尿に泡が立つ」と語録にある。成長ホルモン産生の脳下垂体腫瘍での、「巨人症・糖尿病」では
・二宮金次郎も、182cm　94Kg の巨漢とその風貌から「巨人症・末端肥大症」では
・草食動物の、牛や馬はどうして草だけであの巨体になるのか
・人間の胃袋は解剖学的にみると、牛と同じく４つあるのはなぜか
・爬虫類、鳥類、昆虫類は水を飲まないし、小便もしないでいられるのは
・縄文人と弥生人の違いは、進化の過程の DNA 変化において風貌や、またお酒に強いかどうかはアルコール分解酵素欠損の有無で説明できる
・日本人は一人１年間に、塩　4kg 以上、砂糖は　30～40Kg 摂っている驚き
・塩が付く地名は、意外にも内陸部に多い理由は



